

## 昭和天皇の御散歩道

(●に数字は記念の石碑がある場所)



### 記念石碑文

- ① 御散歩御下問の処 飯塚家自作あかざ科箒木に付いて申し上げ
- ② 御散歩順路
- ③ 天皇陛下御立寄碑
- ④ 御散歩御下問之碑 ひいらぎ科たも木に付いて申し上げ
- ⑤ 御散歩順路
- ⑥ 御散歩の折 豆科紅花えんどう御採取給う
- ⑦ 御散歩御少憩所 松茸山御説明 御案内に決定
- ⑧ 御散歩の折 道を誤り 恐惶恐懼
- ⑨ 御散歩の折 谷地田水草に御興じ給う
- ⑩ 御散歩の折 村娘と出合いて 手籠内の栗茸に付いて御言葉を給う
- ⑪ 御散歩御少憩所 松茸山御案内拝辞
- ⑫ 御散歩御下問の処 松葉鳩に付いて申し上げ
- ⑬ 御散歩 御少憩所
- ⑭ 御散歩 御帰途 写真班転倒 御笑ひ給う
- ⑮ 御散歩 御帰還 稲架穂御覧給う
- ⑯ 御散歩御帰途 老松御覧給う
- ⑰ 御散歩 御帰還 墓所並開墾地 御遠望
- ⑱ 御散歩 御帰途順路

### 周辺略図



### ボランティアガイド 要予約

お問い合わせください。

メ モ

## 高田コミュニティーセンター

〒945-1122 柏崎市新道3388  
TEL/FAX 0257-22-4401  
e-mail:c-takada@kisnet.or.jp

# お宝探訪 たかだ

## 1 飯塚邸

◎開館時間 9:00~17:00  
◎休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)  
12月1日~翌年3月31日

飯塚家は柏崎近郊の大地主として地域経済に貢献し、特に明治以降は地域内外の経済界、政界において活躍した経歴を持つ旧家であり、近世、近代における越後の富裕階級の生活を今に伝える貴重な史跡である。

飯塚家由緒書によると、天正18年(1590)小田原城の合戦で北条方の武士であった飯塚延政が討ち死、その子延忠は諸国流浪の末、当地上条城主・上条上杉政繁の家臣、星野六右衛門の庇護をうけていた。慶長3年(1598)秀吉の命により、春日山城主上杉景勝が会津若松に移封となり、星野六右衛門も追従することになり、その領地200石、館とも若武者延忠に譲って行ったといわれている。

延忠は武士の望みを捨て、孫八郎と名を改め飯塚家初代としてここに定住した。

重厚な長屋門造りの表門より邸内に入ると、江戸末期建造といわれる座敷棟が、さらに渡り廊下で新座敷棟・奥土蔵へとつづく。

主屋西側は苔むした四季折々に趣のある広大な池泉回遊式庭園となっている。

新座敷棟は大正初期の建造で、建材は長尺・巾広材や樺材などの最上級の部材が随所に見られ、当時の飯塚家の財力が窺われる建物であり、昭和天皇甲信越巡幸の際には行在所として2泊滞在された。

昭和22年10月10日昭和天皇は県内を巡幸後夕刻ご到着され、翌11日ご静養日には飯塚邸内の庭園や付近の山野を散策され、その自然を満喫された。後に庭園は宮内庁より「秋幸苑」の名を賜った。

昭和48年、旧家の佇まいと庭園は「秋幸苑と行在所」として柏崎市の史跡文化財に指定された。

平成13年、第14代当主飯塚知義氏により土地、建物等が柏崎市に寄贈され、歴史民俗資料館「史跡 飯塚邸」として平成15年より一般に公開されている。

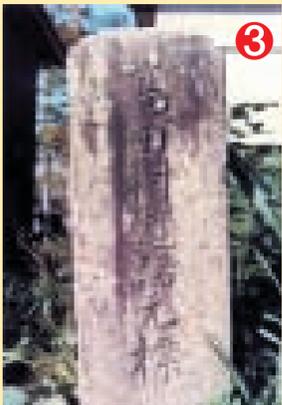


## 高田コミュニティーセンター

鵜川神社 大櫓



**② 鶴川神社の大欅** (国指定天然記念物)  
 ◎根まわり 約14m ◎目通り 約11.5m  
 ◎樹高 約20m ◎樹齢 約1,000年



**③ 高田村 道路元標**  
 大正8年制定の旧道路施行令で、道路の起点を表示する標識で、各市町村に一基ずつ置かれていた。耐久材で表面に市町村名が記載され道路脇に建てられている。



**④ 真言宗山王山 三諦寺**  
 応永元年(1394)真言宗の僧快栄により開基、高野山明王院の末山。本尊は安阿弥作 薬師如来木仏坐像(高さ1尺3寸)。明治30年裏山が大雨で崩れ、中に銅製経筒、朱墨交書妙法蓮華経、銅製梅花双雀鏡が入った陶製の壺が崩土から発見された。(柏崎市立博物館展示)



**⑤ 夏井の十王堂**  
 三諦寺の末庵、元禄10年(1697)創立、開基・開山由緒不明。堂内に十王仏木像が安置されていたが無住になり、現在は集落集会所に改築されたが、十王仏は大切に保存されている。



**⑥ 笠かぶり地蔵**  
 台座から転げ落ちていた地蔵さんを、通りかかった馬車曳きの男が起して台座に乗せ笠を被せたという伝説があり、今も地元の人たちに引き継がれている。



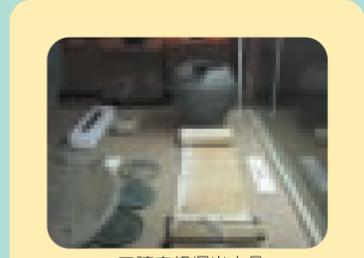
**⑦ 龍松庵(観音堂)**  
 本尊は行基作と云い伝えられている高さ1尺1寸の如意輪観音で木仏、立像である。堂への石段昇り口に珍しく大きな「二十三夜塔」、中段に「愛染明王」と大書され、台座には「二十六夜講」と書かれた石塔が建っている。



**⑧ 曹洞宗成沢山 龍雲寺**  
 亨徳元年(1452)、龍雲玄珠和尚が開山、後に龍雲院傑傳宗英居士を開基として開かれた。慶長年間(1596~1615)、上条上杉氏の家臣大橋左内という者が再興して今に至った。



龍雲寺庭園  
 天明年間(1781~1789) 柏崎陣屋の郡奉行が飢饉の救済対策として村人に造成工事させた庭である。



三諦寺経塚出土品  
 (柏崎市立博物館に展示)



龍松庵木喰仏 左:興教大師座像 右:弘法大師  
 (柏崎市立博物館に展示)

**⑨ 黒滝城跡**  
 黒滝城は、黒滝字館(たて)及び梨平集落の西方標高140mの城平が黒滝城の本丸跡で上条城の要害であった。



**⑩ 曹洞宗鷲栖山 長泉寺**  
 文安2年(1445)、上条城主・上杉清方が上杉房実、上杉定実が菩提所として開基したと言われている。寛永3年(1462)8月、火災になり、寛正5年(4月)、黒滝村字梨平に転住再建する。正徳元年(1711)、寺堂再建。明治13年10月火災にあうが再建する。



**⑪ 医王山 摩尼珠院**  
 越後三十三番札所観音霊場 第七番札所  
 ◎御本尊 正観世音菩薩(木仏、座像) 行基作とされる。  
 高野山明王院の末山、永正2年(1507)創立。開山は僧法印覚応。



**⑫ 堀の大原遺跡**  
 昭和20年代に、大原の畑作業中に1万2千年前の石器・通称「丸ノミ」が出土した。  
 ◎長さ 25.9cm ◎刃部幅 5.7cm  
 ◎厚さ4.5cm ◎重さ 745g  
 新潟県で一番古い石器とされている。(柏崎市立博物館展示)



**⑬ 南下の大杉<市指定天然記念物>**  
 神社には大杉がよく見られるが、個人所有のものは少ない。  
 ◎根まわり 7.5m ◎目通り 6.2m  
 ◎樹高 約30m ◎樹齢 約500年



**⑭ 南下のお子地蔵さん**  
 伝説によれば南下の地蔵さんは、近所の留守宅をお守りしたり、お地蔵さんの前の広場で遊んでいる子どもの面倒(子守り)を見て下さるとも言われ、村人たちは、安心して家を留守にして働くことが出来たという。



**⑮ 新道かき栽培組合**  
 所在地 柏崎市大字新道5716番地  
 TEL:0257-24-9731(選果場)  
 オーナー制度あり、詳細はお問い合わせください。

